

大田区自立支援協議会 第7回地域生活部会議事録

文責：伊藤委員（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第7回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和元年12月17日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	宮崎 渉	相原 美晃	伊藤 美和子	大宮 謙一
	鶴田 雅英	宮嶋 祐紀子	山根 聖子	相澤 あゆみ
	榎 拓巳	大岩 香代子	小野 英次郎	棧敷 洋子
	島村 勝	清野 弘子	中野 真弓	新田 美和
	山崎 訓子	山田 悠平		
	区事務局：福島係長、秋山、西澤、齋藤、親跡 区職員：高柳係長（志茂田福祉センター）			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 各連絡会等の情報提供について 山崎委員：2月29日に「ひきこもり・生きづらさ茶話処 in 大田」を入新井集会室・Luz 大森で開催予定。特別企画として、茶話処終了後、JOBOTAの見学会を行う予定。</p> <p>新田委員：サポートセンターより。1月24日、人材育成研修で「支給決定プロセス研修」を行う予定。特別支援学校の保護者にもお伝え願いたい。</p> <p>(2) 第7回「地域生活部会」で討議や検討する議題の確認 ア 平成30年度から引き継いだ課題 (ア) 重症心身障がい児・者の地域生活の継続</p> <p>宮崎委員：前回もお話ししたが、B棟の島村さん、荏原病院の大宮委員にお話を伺った。今年のワーキンググループはマップの形を作っていこうということで、ダウン症の事例でフローチャートを作った。今年度、来年度でフローチャートの作成をしたい。その前段階として、お話を聞いて自分たちの思考を深めなければならない。将来的にはホームページに掲載して、使えるようにしたい。重症心身障がい児（者）の短期入所についてはサービスが始まったばかりなので、来年度また検証したい。</p> <p>鶴田委員：去年、重症心身障がい児（者）の当事者のニーズを聞くアンケートと、それに対応できるかという事業者向けのアンケートが立ち消えになったので、ワーキンググループを立ち上げる必要があるのではないか。</p> <p>(イ) 就労を目指す上で、18歳までに必要な準備と障害児サービスのつなぎ →今回は討議なし</p> <p>イ その他の課題 (ア) これまでの議事録からの抽出内容を確認 →抽出した課題を一旦持ち帰って、次回以降の部会で意見交換を行う。</p> <p>(3) 令和2年度の地域生活部会について ア 令和2年度の地域生活部会スケジュール確認 →火曜日・午前中に決定</p>			

イ 令和2年度各WGの検討
→各WGで検討

(4) 公開勉強会・公開セミナーについて

ア 第2部の構成等

・パネルディスカッションについて

鶴田委員：指定発言でよいのでは。推薦があればお願いしたい。

山田委員：協議会の委員もよいと思う。

山根委員：会として、事例のご家族の声を聞きたいという意見があった。また、事業者の方を含め、幅広い多様な暮らしについての話などバランスのよいディスカッションになってほしい。

鶴田委員：ご家族にコメントの依頼はできる。事業者は、グループホームの暮らしについてお話いただける相原さんへお願いするのはどうか。

山田委員：パネルディスカッションは第1部の内容を受けてか。

鶴田委員：第1部の内容を受けて、グループホームの現状やグループホームの職員の立場から見てどうかなど話してもらえれば。

相原委員：多様な暮らし方の一つとして、グループホームの生活について事例を交えて話すことは可能。それぞれ抱えている課題がある。

清野委員：親としてこういう暮らし方もあるということが見えてくるようなディスカッションにしてほしい。

相澤委員：何かを持って帰りたい。大田区でできること、足りないことを理解したい。

山根委員：どういうサービスを繋げたらこういう生活ができるのかを知りたい。できれば協議会に持ち帰って検討したい。

宮嶋委員：現状として、関わっている家族のほとんどがグループホームでの暮らしを想定している。今回どのような願いがあって地域での暮らしに繋がっていったのか。親や本人の希望について聞きたい。

新田委員：パネリストの方に現状と課題を話してもらった後、皆さんの意見を聞いてパネリストの方が意見交換を行い、山田さんがまとめをして先生に総評をしてもらう流れでよいか。

大岩委員：申し込みの時に事前に取り上げてほしいこと、今回のテーマについて聞きたいことなど意見を出せないか。そうすることによって、地域からの生の声を拾えるのではないか。こたえは会場の中で出せば良いのでは。パネラーからも話を聞くことができればと思う。

→申込用紙の裏面に記入する欄を設けることはできる。

山田委員：申し込みの際と先生の話聞いた上での質問をパネルディスカッションに生かす、でよいか。

現時点でのパネリストは、田中先生、山田委員、相原委員、中村氏の4名。

・時間配分について

鶴田委員：パネラーに問題提起をしてもらい、指定発言の後それを受けて質疑応答にしていきたい。

清野委員：ディスカッションの時間が短くならないか。

宮崎委員：パネリストの話す内容をある程度決めておいた方がいいのではないか。

島村委員：討議の時間が取れないのではないか。時間配分の見直しが必要だと思う。

・タイトルについて

大岩委員：タイトルをよく見れば知的障がい中心にと書いてあるが、ディスカッションのところを見ると、身体もあるのかと思ってしまう。

小野委員：テーマを明確に表示すればいいのでは。

宮崎委員：サブタイトルは「知的障がい者の1つの暮らし方から考える」ではどうか。

山田委員：タイトルは既に区報記事へ掲載される予定。講演会の内容に身体の歴史も含まれているため、限定的な表記をしていない経過がある。

大岩委員：パネルディスカッションのところにサブタイトルをつければよいのではないか。

中野委員：1部の基調講演のタイトルは表題、2部は「知的障がいの～」にするとわかりやすい。山田さんはパネリスト兼コーディネーターと表示するとよいと思う。

・懇談会について

→お金の徴収が必要であり、講演後に残る方が多いと対応が難しい。今回は公募なし、地域生活部会委員のみで行うこととする。セミナー閉会后に行う。

イ チラシ(案)の確認

・タイトルをつける→1部・基調講演のタイトルは表題と同じ
2部のタイトルは「知的障がい者の方の一つの暮らしから考える」

・時間について→終了13時30分

・ビデオ上映時間を20分と入れる

・パネリストの順番は、田中先生、中村さん、相原委員、山田委員(兼コーディネーター追加)

・区外からの申し込みも可能とする

・主催は大田区自立支援協議会・地域生活部会

・申込み用紙の裏面は申し込みのみで、質問欄を設ける

・ホームページにも掲載予定

→2部の構成は、次回もう少し詰めていく予定

(5) 障がい施策推進会議への対応

ア 提言書(案)について

→運営会議が1月29日と決まった。運営会議で協議会として意見のたたき台を作る。地域生活部会の意見を1月の部会でまとめる必要があるため、それまでにメール等で意見を出してほしい。

イ 各WGの提言書(案)について

→1月に各WGで検討する。

○1月作業部会

日時：1月8日(水)10時から11時

会場：さぽーとぴあA棟5階 多目的室

次回部会の役割決めなど

次回、第8回 地域生活部会は

日時：令和2年1月21日(火曜日)10時から12時

場所：さぽーとぴあA棟5階 多目的室